

# 意外とやってませんか？ 利用者の「緊急時」の対応

日頃関わっているからこそわかる利用者の変化の気づきが緊急時の対応につながることで多いと思いませんか？

ただ、「緊急対応」といっても大なり小なりあり、一括りにするのは難しいですよね？

本研修は話題提供を基に、グループワーク形式で精神障害者の「緊急」ケースについて実際にどんなケースがあり、どんな対応をしたか等を意見交換し、何が足りないか、何が必要かを検証していく第1歩にできればと思います。

「身近な相談者」だからこそできる強みがどういったことなのか、日中活動の場、居住支援、相談支援と様々な角度から話し合うことで、自分たちが日ごろ行っていることが、地域生活支援拠点やせ「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」へつながっているというイメージを共有できればと思います。みなさん事業所種別関係なくご参加ください！

※3月28日（土）に「緊急」をテーマにしたシンポジウムも開催予定です。当事者、家族、日中活動系事業所、グループホーム、相談支援等様々な事業所から報告いただく予定です。つながりが見えてくるとと思いますのでこちらも併せてご参加ください！

日時：令和2年2月28日 18:30～

場所：横浜 SSJ 会議室

話題提供者：渡邊 雅子（横浜市精連常任理事）  
グループワーク（意見交換）

申し込み FAX：045-263-8101

所属		
氏名		
TEL	会員	・ 非会員

申し込み期限 2月21日まで 定員になり次第締め切ります。

問い合わせ先 横浜市精連 TEL：045-263-8100